

# 第6学年O組 英語科学習指導案

令和2年〇月〇日 〇曜日 第〇時(〇〇室)

指導者 〇 〇 〇 〇

## 1 単元 Unit 4 Summer Vacation in the World

### 2 単元の目標

- (1) 世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介する語句や表現を身に付けるとともに、活字体の大文字・小文字を理解することができる。
- (2) 世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介する目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして紹介することができる。
- (3) 他者に配慮しながら、主体的に、世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介するとともに、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとする。

### 3 学習の計画 (8時間完了)

- |     |         |  |
|-----|---------|--|
| 第1次 | 第1時     | 夏休みの過ごし方について、およその内容を聞き取る。                                  |
|     | 第2時     | 夏休みの過ごし方について、聞き取った内容を発表するとともに、自分の思い出を紹介するために必要な語句や表現を理解する。 |
| 第2次 | 第3時(本時) | 過去に起こった出来事について、尋ねたり応答したりする表現を身に付ける。                        |
|     | 第4時     | 過去に起こった出来事の感想を尋ねたり応答したりする表現を身に付ける。                         |
| 第3次 | 第5時     | 夏休みの思い出を紹介する文を作り、発表に向けて練習する。                               |
|     | 第6時     | 夏休みの思い出を発表する。  |
| 第4次 | 第7時     | 世界の小学生が夏休みをどのように過ごすのか考える。                                  |
|     | 第8時     | 疑問詞について、英語と日本語の違いを知り、世界についての理解を深める。                        |

### 4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - 過去に起こった出来事について、尋ねたり応答したりする表現を身に付ける。
- (2) 準備・資料
  - 教師……教師用デジタルブック、大型テレビ、教師用絵カード、振り返りシート
- (3) 関 連
  - 4年 外国語活動 Unit 9 This is my day. ぼく・わたしの一日(日課を伝える。)
  - 5年 英語 Unit 7 Welcome to Japan. (日本の四季や文化を紹介する。)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 挨拶をする。 ・ Good morning. ・ How are you? ・ I'm fine. / I'm sleepy. / I'm hungry.	1	○ 元気よく挨拶をして、授業に対する意欲を高めるようにする。 ○ 全体に挨拶をした後で、個別に数名の児童に挨拶をする。
	2 ウォームアップをする。 (1) Let's Sing "We love summer vacation." (2) Let's Chant "Did you enjoy camping?" (3) Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?"	7	○ 英語の授業の雰囲気づくりをする。 ○ 児童と一緒に歌う。 ○ チャンツを流し、一緒に言う。 ○ PD(P.18~19)を参照させ、主な動作などを確認させる。 ○ 指導者と児童のやりとりで見通しをもたせてから児童同士のやりとりにつなげる。
	3 本時の学習課題をつかむ。 昨日食べたものを伝え合おう。	8	
言語 材	4 語句を確認する。(P.36 Word Link) ・ PD(P.9)デザート語句を確認する。	12	○ 確認した語句は、本時の活動で用いるとよいことを伝える。 ○ 難しい語句は繰り返し触れさせる。

料 の 理 解	5 登場人物の夏休みについて聞き取る。 (Let's Listen 1) (1) 英文を聞き、登場人物とその行動に関わりのある絵とを線で結ぶ。 (2) 答え合わせをする。	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複数回聞かせ、分かるところから徐々に理解できるようにさせる。</li> <li>○ 何度も音声で聞かせ、語句や表現に慣れ親しませる。</li> <li>○ 過去の出来事を伝える表現を確認する。</li> </ul>
言 語 材 料 の 追 究	6 昨日食べたものについて、ペアで尋ね合う。(Let's Try 2) (1) モデル会話を視聴する。  (2) やり取りで用いる表現を確認する。 Q: What did you eat? A: I ate curry and rice. (3) 友達と尋ね合う。	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導者と児童で実際にやり取りをして、活動の見通しをもたせる。</li> </ul>
	7 やりとりで用いた表現を書き写す。 (Let's Read and Write 3) ・ I ate <u>curry and rice</u> .	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ できるだけ多くの友達と会話をさせる。</li> <li>○ 活動の時間内に必ず指導者のところへ来て会話をさせる。</li> <li>○ 最後に数ペア発表させ、よかった点を取り上げ共通理解させる。</li> </ul>
文 字 練 習 ・ ま と め	8 音と文字のつながりを知る。(P. 92 Sounds and Letters I, i) (1) ink と始まりの音が同じ絵に○を付ける。 (2) アルファベットを書く練習をする。	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 声に出して読みながら、同じ音を認識させる。</li> <li>○ 音と文字を一致させるために、アルファベットの名前を発音しながら書かせる。</li> </ul>
	9 本時の学習を振り返る。 (1) 振り返りシートに振り返りを記入する。 (2) 終わりの挨拶をする。 ・ That's all for today. See you.	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習して分かったことや自己評価を記入させる。</li> <li>○ 活動のよかった点を伝え、次時に向けての意欲付けを図る。</li> </ul>

(4) 本時の評価規準

- 昨日食べたものについて尋ねたり、自分が食べたものを伝えたりして、過去の出来事を尋ねたり答えたりする表現を身に付けている。(会話)

## 5 備 考

(1) 学級の実態

- 児童は英語の学習に対して意欲的で、チャンツやゲームなどに楽しんで取り組む様子が見られる。しかし、中にはチャンツやゲーム、パターン練習には自信をもって取り組めても、自分のこととして英語を話すことは苦手で、自信をもって話せない児童もいる。

(2) 指導の力点

- 本時で学習する表現を身に付けさせるために、まずは音声を繰り返して十分に聞かせ、そこから活動で用いる表現に気付けるようにする。また、活動の最初にモデルとなる会話を提示することで、見通しと自信をもって活動に入れるようにさせる。

## 6 指導と評価